

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

御杖村第2期まち・ひと・しごと創生推進計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

奈良県宇陀郡御杖村

3 地域再生計画の区域

奈良県宇陀郡御杖村の全域

4 地域再生計画の目標

本村は、奈良県の東部に位置する山あいの村で、1980年に総人口が3,430人だったが、住民基本台帳によると令和6年には1,393人まで減少している。国立社会保障・人口問題研究所によると、2045年には2020年比で総人口が約36.7%となる見込みである。

年齢3区分別人口構成比の推移をみると、老年人口（65歳以上人口）の割合は平成2年(1990)年の23.4%（710人）から令和2(2020)年には60.4%（891人）に増加している。この間、年少人口（0～14歳人口）の割合は13.8%（419人）から3.4%（50人）に、生産年齢人口（15～64歳人口）の割合は62.8%（1,906人）から36.2%（534人）に減少している。なお、総人口に占める生産年齢人口構成比については、昭和60年の65.1%（2,140人）をピークに減少に転じ、令和2年に36.2%（534人）に減少している。

自然動態をみると、出生数は昭和24年の141人をピークに減少し、令和5年には1人となっている。その一方で、死亡数は令和5年には48人と増加の一途をたどっており、出生者数から死亡者数を差し引いた自然増減は▲47人（自然減）となっている。

社会動態をみると、平成20年には転出者（72人）が転入者（48人）を上回る社会減（▲24人）であり、それ以降、社会減（転入数が転出数を下回る状況）が続いていたが、令和5年には転入者（49人）が転出者（48人）を上回る社会増（1人）

の年もあり、近年においては、社会減（転入数－転出数）の減少数は、少なくなっている。

自然増減と社会増減を合わせた純増減はこの10年間、30～70人台のマイナスで推移している。

人口減少や少子高齢化が進むにつれ、基幹産業である農林業の担い手不足による産業の衰退、空き家や耕作放棄地、放置林の増加により防災、防犯、景観等の地域住民の生活環境に深刻な影響を及ぼし、集落の維持が困難になる。

これらの課題に対応するため、本計画において次の3つの基本目標を掲げ、産業の振興、子育て支援、移住促進など様々な分野で住民と行政が共同で取り組み、村民が健やかに安心して暮らし、美しい自然に囲まれながら、学び、働き、生活を楽しむむらづくりを推進する。

- ・基本目標1 “創造の杖”で“しごと”の縁を広げる
- ・基本目標2 “育成の杖”で“ひと”の縁を育む
- ・基本目標3 “環境の杖”で“むら”の縁を深める

【数値目標】

5-2の ①に掲げ る事業	KGI	現状値 (計画開始時点)	目標値 (2029年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	新規創業者数（事業承継者数を含む）	4人	5年間で5人	基本目標1
イ	御杖村へ愛着や誇りを感じている村民の割合	60.4%	100%	基本目標2
ウ	移住世帯数	3世帯	年間4世帯	基本目標3

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2のとおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

○ まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する
特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

御杖村まち・ひと・しごと創生推進事業

ア “創造の杖”で“しごと”の縁を広げる事業

イ “育成の杖”で“ひと”の縁を育む事業

ウ “環境の杖”で“むら”の縁を深める事業

② 事業の内容

ア “創造の杖”で“しごと”の縁を広げる事業

○農業の振興

後継者・新規就業者の確保と育成、営農体制の強化、高品質な農産物の
安定生産と効率化の促進、農業・農村の有する多面的機能の発揮

○林業の振興

後継者・新規就業者の確保と育成、計画的な森林保育の推進、自伐型林
業の確立、森林資源・地元木材の利活用の推進

○商工業の振興

商工業の振興と起業・事業承継への支援の推進、創業者・企業誘致の推
進、6次産業化の推進、買い物環境の充実

○観光の振興

観光資源の魅力向上、新たな観光コンテンツの開発、観光情報の戦略的
な発信 等

イ “育成の杖”で“ひと”の縁を育む事業

○子育てにやさしいむらづくり

妊娠・出産・子育てへの切れ目のない支援の推進、保育所での教育・保
育の充実、地域子育て支援の充実、子育ての経済的負担の軽減、不妊治
療支援の推進

○学校教育の充実

子どもたちが主体的に課題を解決する授業・課外活動の推進、国際理解教育の推進、小中一貫による充実した教育環境づくりの推進、特別支援教育の推進、地域に根ざした「心の教育」の推進、希望する進路をかなえる教育の推進、放課後一時預かりの推進

○歴史・文化の保全と発展

歴史・文化の保全と継承、歴史・文化資源を活用した魅力創造 等

ウ “環境の杖” で “むら” の縁を深める事業

○移住・定住の環境整備

移住希望者への支援の推進、住まいの確保にむけた支援の推進、公共交通の確保、定住人口・関係人口増に向けた取組の推進

○コミュニティの活性化

公益的な任意団体の活性化

○共生・交流のむらづくりの推進

多文化共生のむらづくりと交流の推進

○行財政の適正な運営

デジタル技術を活用した行政運営の推進 等

※なお、詳細は第四次御杖村長期総合計画（後期基本計画）のとおり。

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（K P I））

4の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

100,000千円（2025～2029年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（P D C Aサイクル）毎年度2月に外部有識者による効果検証を行い、翌年度以降の取組方針を決定する。検証後は速やかに御杖村ホームページで公表する。

⑥ 事業実施期間

2025年4月1日から2030年3月31日まで

6 計画期間

2025年4月1日から2030年3月31日まで